

稲沢市教育施設長寿命化計画（個別施設計画）（案）に対するパブリックコメントについて

- 1 募集期間 平成 31 年 1 月 28 日（月）～平成 31 年 2 月 27 日（水）
- 2 意見提出者数 17 人
- 3 意見件数 47 件
- 4 提出されたご意見の要旨と市の考え方

（ご意見は、文意等を損なわないように要約・補足等をさせていただきます。）

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
1	—	<p>パブリックコメントの対象を稲沢市内に在住かまたは在勤・在学者に限定しているが、稲沢市にとってより良い計画を策定するために、広く門戸を開放するべきではないか。稲沢市の行政情報公開は門戸を広く開いている。現制度は稲沢市に関心を持っている人を排除することになるのではないか。稲沢市に関心を持ち、よりよいまちにしたい人の意見を取り入れるためにも、パブリックコメントの対象を限定するべきでない。</p> <p>「稲沢市行政情報公開条例」は行政情報の公開を請求する権利を「何人も」（第五条）と広く門戸を開放している。</p>	<p>パブリックコメントは稲沢市市民参加条例第 7 条に基づき、市民から意見を求める手段として実施しており、同条例の第 2 条において、市民とは市の施策等に関して影響を受けうる「市内に在住、在勤又は在学する個人並びに市内に事務所又は事業所を有する個人及び法人その他の団体をいう。」と定義されています。</p>
2	—	<p>稲沢市の未来をつくる子ども達の教育をどう考えているのかが問われるのではなく、施設が古くなったからコストを考え長寿命化の為の計画という事。全くナンセンスです。悲しいです。教育は 100 年先への投資です。税金を投入して当然です。現在つくば市教育長の門脇厚司さんの本を読んで下さい。子ども達に社会力をつける為に地域で子どもを育てることが大切、そして地域も育てることが必要とあります。地域のコミュニティの場としての学校・教育施設は重要です。世界一の学力をほこるフィンランドは 1 クラス 20 人程度で、全体の学級数も稲沢の標準学級より少ないです。上からおしつけるやり方ではなく、地域の実情から出発すべきだと考えます。学校統廃合などは、地域をこわし過疎化をうみます。今迄の集落がこわれていきます。失ったらとりもどせない行政の責任は大です。</p>	<p>本計画は、稲沢市が現在管理する教育施設について長寿命化を図るための方針等を定めることを目的としており、建替えの検討等の考え方については「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」（以下、「あるべき姿」とする。）を踏襲しています。</p>

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
3	—	昭和 51 年の目比川決壊で家族 5 人舟で坂田小学校に避難しました。その子供達も現在は家族ができ子供を育てるのに近くに保育園と学童保育のある場所を選んで住んでおります。安心して住みやすい地域にするためにぜひ小学校を残していただきたいと思いますが、どうしても無理の場合は昔、坂田分校でしたので分校で残してほしいと考えますのでよろしくお願い致します。	「あるべき姿」にも示していますが、学校再編、校区再編を進めるときは、児童生徒、保護者、地域住民の学校に対する思いや判断を最大限尊重して進めてまいります。
4	タイトル	題名として「個別施設計画」と書かれていますが、個別の計画が公表されたものではわかりません。公表されていない部分があるのですか？ぜひともそれも公表すべきだと思います。	【No. 4～6 一括回答】 個別施設計画とは、総合管理計画が全ての公共施設を対象としているのに対し、施設類型別を個別という表現としています。
5	タイトル	題名が教育施設長寿命化計画（個別施設計画）とうたっているが個別計画はしめされていない。きちんと内容をしめす必要がある。 身近な施設が「具体的にいつ・どうなるのか」が分からないと市民はコメントできない。暮らし続けるには不安である。	
6	タイトル	題名に「個別施設計画」と書いてあるのに自分の学校をどうするのか分からない。 個別の学校に関する資料もきちんと公表すべきではないでしょうか。	
7	タイトル	以下の文を挿入する必要がある。 《実施にあたっては、地域住民・市民との合意をはかり「市民が、将来もずっと暮らし続けるまち」稲沢の実現をめざす。》 市長のスローガンであり、市民のための計画なのだから。	本計画は、稲沢市が現在管理する教育施設について長寿命化を図るための方針等を定めることを目的としています。

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
8	2	<p>教育施設長寿命化計画について</p> <p>全体的にバクっとした内容で、市民にどういったコメントを求めているのか、よく分からない。</p> <p>すでに冒頭の背景、目的の項で、「計画内であっても社会情勢の変化などへの対応が必要となった場合には、見直しを行う」としているが、計画における40年、50年先の変化などは予測不可能で、その場になれば見直しを求められることは当たり前だ。文科省の指針に沿って、コンサルに作文を書いてもらったに過ぎない。この程度ことは市職員で考察できないのか、改めて驚いた。</p> <p>1、目指すべき姿について</p> <p>「身の丈にあったコンパクト…」は、その後の「防災面での機能を持っている」「…省エネ対応…」へと続くが、もともと相矛盾するものだ。</p> <p>例えば、下津小学校の給食室閉鎖は、身の丈にも合っていないし、既存の防災機能をつぶしたものだ。後に出てくる「自校方式を基本」と矛盾する。すでに、稲沢東小で作る給食がまずく、これまでの給食で育った児童らは、とても食せないと言っている</p>	<p>人口減少、少子高齢化の中で、行政には身の丈に合ったコンパクトでスリムなまちづくりが求められている一方、防災面での機能等も求められているという現状について再確認をするものです。</p>
9	2	<p>「標準規模の対応を見据えながら」とあるが、下津小学校のマンモス化問題（標準規模オーバー）を放置し子どもを犠牲にしてきた反省もなく、「標準規模」を持ち出して学校の統廃合をすすめるのは、あまりにもご都合主義ではないのか。</p> <p>「子育て・教育は稲沢で」実現のためには機械的な適用は止めるべきである。</p> <p>小さな学校（少人数授業）こそ世界の標準である。また、高齢化が進む地域住民にとっても近くなじみのある学校（避難所）があることが、「暮らし続ける」うえで大切である。特に子育て世代には、「近くの学校と1人ひとりに目が届く教育環境」は必須の条件であり、統廃合が計画・実施される地域には住みたくない。いっそう過疎化（少子化）を進めるだけである。</p>	<p>本計画は、稲沢市が現在管理する教育施設について長寿命化を図るための方針等を定めることを目的としており、建替えの検討等の考え方については「あるべき姿」を踏襲しています。</p>

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
10	2	<p>P8 教育施設の目指すべき姿</p> <p>「標準規模への対応を見据え…」とあるが、坂田小学校での親との話し合いで出された地域の意見を尊重すべきと思う。</p>	<p>「あるべき姿」にも示していますが、学校再編、校区再編を進めるときは、児童生徒、保護者、地域住民の学校に対する思いや判断を最大限尊重して進めてまいります。</p>
11	2	<p>P8</p> <p>2、「教育施設の目指すべき姿」で子どもたちに生きる力を身に着けさせる…、標準規模への対応を見据えながら、目指す学校づくりとを実現できる教育施設としていくことが望まれる。とあるが標準規模についての説明がない。</p> <p>市民にはすぐ理解ができない。</p>	<p>以下のとおり修正します。</p> <p>P8 (4行目から)</p> <p>「学校づくりを目指す必要があり、学校再編、校区再編を進めるときは、児童生徒、保護者、地域住民の学校に対する思いや判断を最大限尊重し、～」</p> <p>なお、標準規模についてはP11に「標準規模とは」という項目を追記します。</p>
12	2	<p>P8</p> <p>2 教育施設の目指すべき姿</p> <p>学校は地域の文化センターとしての役割があります。地元の人が講師となって、地域の芸能、文化、歴史あるいは農作物の栽培方法を児童、生徒に指導する事も多いです。その事により、学校が地域文化の保存、継承の役割も担ってきたと思います。</p> <p>また、児童、生徒にとっても、それらの活動は、視野を広げ、地域に目を向け、未来を考えて行く事にもつながり、とても大事な学びです。</p> <p>それゆえ、学校の存続理由は、単にその地域の広さや児童数だけに限定されず、地域とのつながりを考えなければいけないと思います。私は以前、小学校に教師として勤めていましたので、そのつながりの強さを実感しています。</p> <p>このページに是非、地域の文化センターとしての学校の文言を入れてほしいです。</p>	<p>以下のとおり修正します。</p> <p>P8 (8行目から)</p> <p>「また、学校施設は学校開放等により地域住民にとってスポーツを楽しむ場や地域文化を育む場として利用されるとともに～」</p>

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
13	3	<p>2、学校施設の実態について</p> <p>今後の維持・コストの状況が書かれているが、個々の実態を市民に説明する意味がどこにあるか。担当部署が把握すればいいことで、コメントを求めることではないだろう。</p> <p>政府の行う「統計改ざん」と同じで、その信ぴょう性までは市民は分からない。</p>	<p>本計画は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」及び「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を踏まえ作成しており、そのなかで学校施設の実態を記載するものとなっています。</p> <p>また、計画書として対象施設の実態について整理する必要があると考えます。</p>
14	3 (1) ①	<p>P10 図3 学級数の推移</p> <p>1学級は何人定員か、入れて下さい。</p> <p>おそらく40人か学年によっては35人だと思います。</p> <p>欧米では25人位が標準です。日本も一人一人に合わせたきめ細かい教育が言われている昨今、40人定員は実際無理だと思います。この図は40人定員が今後も続くという前提で作られているのではないのでしょうか。定員が変われば、学級数も変わります。</p> <p>また、数合わせだけに終始して、現在1学級25人以下の学校を合併して、学校全体の人数を多くし、1学級の人数を定員一杯の40人にすれば、子どもの教育環境としては良くないと思います。</p>	<p>P10の図3及びP11の表10に以下の注記を追記します。</p> <p>※小学校1・2学年及び中学校1学年は35人学級であり、その他の学年は40人学級である。</p> <p>(小中いずれの将来推計も同様)</p>
15	3 (1) ②	<p>P12</p> <p>学校施設以外の利用状況</p> <p>「社会教育系は減少傾向」となっていますが、他と比べ、一番利用者は多いので「一番、利用者は多い」と、入れてほしいです。</p>	<p>P12の4行目に以下のとおり修正します。</p> <p>「社会教育系は利用者数としては最も多くなっているものの」</p>

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
16	3 (1) ⑥ 1)	P17 図8のグラフの読み取りについて。 51年から60年の10年間の年平均額23.5億円は、まちがっていませんか。 どの年度も20億円を上回っていません。	平成51(2039)年度の維持・更新コストが突出しているため年平均コストを押し上げているものです。
17	3 (1) ⑥ 1)	P17 図8より 過去5年間の施設関連経費(15.8億円/年)と比べて、平成31年からの10年間では、改築が集中するため、その3.8倍のコストがかかるとしているが、それは40年をこえて改築する必要のものが集中するから当然のことであり、3.8倍となってもいたしかたない。 また、過去5年の平均値が比べるための数値が適当とも思わない。	この図は文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に基づき、作成したものです。なお、過去5年間との比較については、1つの目安として考えています。
18	3 (2) ①	P21からの資料では、早急に対応しなければならない学校施設がいくつもある。 「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」に基づいた恣意的な対応はせず、全ての児童の安全確保を最優先する立場で対応すべきと思う。「要調査」とある2校は、どう対応するのか。早急に再調査のうえ適切な対応されたい。	2校の校舎については、耐震診断時の検査結果から「要調査」となったものです。 今後詳細調査を行い、適切に対応するものと考えています。
19	3 (2) ①	P21~24 建物情報一覧表②によると領内小学校校舎西と法立小学校校舎中が「要調査」で以外は長寿命化、劣化状況評価のD判定の早急に対応する施設がある。P34, 35に長寿命化の実施計画に(1)改修等優先順位付けと実施計画、今後40年間で稲沢市型長寿命化を行っていくとあるが、具体的な個別計画を示してほしい。(図16)	改修等の優先順位は、短期計画において、施設別ではなく改修等の内容により進めていきます。
20	4 (1) ① 1)	民間活力の導入がどうして「運営の適正化」になるのか説明がない。民間業者の最大の目的は利益を出すことである。 しかし、公共施設は利益を生み出すところではない。その運営で利益を出すためには、働く人を減らすか賃金を抑える以外に方法はない。	P27の「施設運営の適正化」については、上位計画である総合管理計画の内容を再掲したものです。 財政状況が厳しくなる中で、公共施設を維持するためには、

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
		<p>そして、利益は経営者のふところへという事である。</p> <p>つまり、市民財産（公共施設）と税金（運営費）を使って、働く人（市民）を苦しめることになる。市民の願いではない。「民間活力の導入」は止めるべきである。</p>	<p>全て行政が担うのではなく、行政が果たすべき役割を明確にした上で、民間事業者との連携を深め、民間活力の導入を進めていくことが必要であるとの趣旨から記載されています。</p>
21	4（１） ① 1）	<p>3、教育施設整備の基本方針について</p> <p>イ、「施設運営の適正化」でPFI、PPPを導入するとしているが、反対である。</p> <p>施設運営はあくまで公の仕事で、民間活力を入れれば、利益優先になること間違いない。将来的に払い下げに通じる。教育までを商売の対象にするな。</p>	<p>施設運営の適正化に関する記述は上位計画である総合管理計画の内容を再掲したものです。学校施設だけでなく稲沢市の全施設についての考え方になります。</p>
22	4（１） ① 2）	<p>学校給食に「親子方式を導入」とありますが、止めるべきである。</p> <p>必ずやってくると言われている大災害に備える意味でも、食育の意味でも「自校方式」は維持すべきである。</p> <p>敷地の問題は敷地の問題として解決の方策を努力すべきである。初めから努力をあきらめているようにみえる。</p> <p>「子ども達や市民のために」頑張ろうという熱意が伝わらないのはとても残念である。</p>	<p>P28の給食に関する記述については、上位計画である総合管理計画の内容を再掲したものです。</p> <p>なお、学校給食に関しては多くの課題を抱えており、給食施設老朽化の問題も含め、給食基本計画の策定において検討してまいります。</p>
23	4（１） ① 2）	<p>P28の類型別方針では「あるべき姿」を指針として、「学校再編、校区再編も視野に入れて検討する」と書いてあるがP8に書かれていた「地域で学校施設が果たす役割」の重要性からも『地域住民の合意の上で』などの文言を挿入すべきでは。</p>	<p>【No. 23～25 一括回答】</p> <p>本計画は、稲沢市が現在管理する教育施設について長寿命化を図るための方針等を定めることを目的としており、建替えの検討等の考え方については「あるべき姿」を踏襲しています。</p>
24	4（１） ① 2）	<p>P28 学校教育施設①統合、廃止（施設総量の適正化）</p> <p>学校の統合、廃止には賛成できません。</p> <p>学校は、子ども達が学び、成長していく場です。</p>	

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
		<p>そのためには、子どもたちどうし、子どもと先生の関係が大切です。</p> <p>稲沢東小学校、下津小学校など大規模な学校では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生が子どもたちと接する時間が足りないため、子どものちょっとしたSOSに気づきにくい ・学習面でも、一人ひとりがどこでつまづいているのかきちんとかんで指導することができない ・下校時には、出入り口が混雑して、いつ怪我が起きてもおかしくないなどと聞いています。 <p>子ども達にとっては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模の学校の方が他のクラスの先生ともかかわることができ「先生が自分を見てくれている」という安心感が持て、落ち着いて生活できる ・学年の違う子どもも知り合うことができ、子どもどうしの関係が豊かになるのではないのでしょうか。 <p>教育を「コスト」で考えるのではなく、子供たちの成長を第一に考えてください。</p> <p>給食は自校で作り、給食室を災害の避難時に活用できるようにしてください。</p> <p>*このパブリックコメントは、「公共施設の長寿命化」についての意見を求めているのか。稲沢市の義務教育とあるべき姿に示している「学校再編」について意見を求めているのか、分かりづらい。</p>	
25	4 (1) ① 2)	<p>「学校再編、校区再編も視野に入れ」とありますが、子ども達・地域の住民（市民）にとってどんなメリットがあるのか説明がない。ただ目先の経済性だけしか考えられていないのではないかと。</p> <p>「子どもが大切にされ」「安心して暮らせる」稲沢は、市のブランド価値を高め・知名度を高め、長い目でみればどれだけの経済効果（人的にも）があるか計り知れない。止めるべきである。</p>	

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
26	4 (2) 1)	P31 (2)教育施設の規模・配置計画等の方針 1) 学校教育施設 「教育施設の地域における文化センター的役割を尊重する」という文言を入れてほしい。 また、「学校の統廃合においては、地域住民の考えを尊重する」と入れてほしい。	以下のとおり修正します。 P8 (8行目から) 「また、学校施設は学校開放等により地域住民にとってスポーツを楽しむ場や地域文化を育む場として利用されるとともに～」 また、「あるべき姿」にも示していますが、学校再編、校区再編を進めるときは、児童生徒、保護者、地域住民の学校に対する思いや判断を最大限尊重して進めてまいります。
27	4 (2) 1)	全体として、施設削減を前提とした話になっています。下津地区のように子どもが増えている地域もあります。市長は「若い人を増やしたい」と言われていますが、学校をつぶせば人は増えません。減ります。 不動産屋の広告で住民のアピールポイントは「学校まで〇〇分」です。地域の核となる学校はよほどの事がなければ減らさない方向でやって欲しいです。市長の「若い人を呼び込み活力ある稲沢を」と、この施設削減計画は矛盾していると思います。 そもそも、学級規模の標準規模というものも更なる検討が必要であり、児童5人、10人ならともかく、100人もいる学校をなくすなど、暴挙とは思えません。	【No. 27～33 一括回答】 本計画は、稲沢市が現在管理する教育施設について長寿命化を図るための方針等を定めることを目的としており、建替えの検討等の考え方については「あるべき姿」を踏襲しています。
28	4 (2) 1)	将来的なさらなる児童・生徒数及び学級数の減少により、標準規模の維持が困難な状況となった場合」のことは書いてあるが、24学級を超える学校をどうするかについての記述はない。どう対応するのか計画の中に明記するべきだ。(文科省は18学級といっている。いずれにせよ財政上の基準であり、義務教育上の適正規模ではないことは、こうしたことから明確になっている)。	

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
29	4 (2) 1)	<p>小中学校、統廃合について、32 ページ程に記入されていました。</p> <p>小規模校の建て替えを余儀なくされた場合、統廃合とする。子育ては稲沢市からなど言われていますが、本当に子供の事やその親の気持ちを考えられているのでしょうか？</p> <p>私は、市政について、難しい事は申し訳ないですが分かりません。だったら何も言うな、と返答が返ってきそうですが、私達は、大切な子供たちを大切に育てています。今のところに住んだのも、坂田小学校なら安心かな、この距離なら安心だな、色々考えて他所から来ました。大きな学校に行かせたい親子さんも居れば、小さな学校に行かせたい親子さんもいます。選べる、それは子育てにとって一番大切な事だと思います。</p> <p>すぐには統廃合はしません、しかし、統廃合はこの先あります。という考えでは、未就園児を持つ親として不安になります。稲沢市の住民として、不安になります。</p> <p>たとえ統廃合になります。となった場合、本当に我が子達は守られるのでしょうか。そんな不安になります。その前に、統廃合に、そうならないように考えて頂きたいです。</p>	
30	4 (2) 1)	<p>P28 の類型別方針では、「あるべき姿」を指針として、「学校再編・校区再編も視野に入れて検討する」と書いてあります。P8 にも書いてあったように、「学校の地域に果たす役割」は大きいです。</p> <p>「学校再編、地域再編について考える場合は、学級数だけを基準にするのではなく、地域の実情や学校の果たす役割、通学のしやすさなどを総合的に考え、地域住民の合意の上で検討を進める」という文言を入れてほしいと思います。</p>	

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
31	4 (2) 1)	<p>P31 学校教育施設の項について</p> <p>「学校規模の標準化を図るため、学校再編、校区再編も視野に…」と度々書かれているが、児童数に合わせた教育施設の減築はすべきだと思う。</p> <p>「将来的な更なる自動・生徒数及び学級数の減少により…」となった場合とあるが、どの程度なのか、以前、山田教育長が議会で述べられたように「複式学級」という事態の可能性が低い状態の中で、十分な住民合意のないまま統廃合はすべきではない。</p>	
32	4 (2) 1)	<p>P31 の「教育施設規模・配置計画等の方針」の趣旨は、「地域コミュニティ機能等による利用に配慮し、一部校舎の用途廃止や減築で対応していく」とあるが、市が考えている「標準規模」に充たない学校についても、統廃合ではなく、一部校舎の用途を地域コミュニティのための施設に用途変更したり、減築したりして是非とも生かしていくべきだと思います。そうしないと地域はどんどんさびれていくと思います。</p>	
33	4 (2) 1)	<p>「教育施設の規模・配置…」では、学校規模の標準規模化をうたっている。ここが眼目かと、目を側めた。ここでは、学校名までは明らかにしていないが、「長寿命化計画」の名を借りて、小規模校の統廃合に市民の了解を求めているのか。</p> <p>いま、教育の質が問われている。きめ細やかな授業のできる小規模校をなくし、教育内容は二の次にした経費抑制の市行政は許されない。</p> <p>一方で、下津小はマンモス化が進んでいる。標準規模を上回っているが、小手先対応では教育委員会の信頼を失う。</p> <p>冒頭で掲げた「身の丈に合った」「防災面の機能」などから見れば、教育内容や地域住民をいかに大切にするかという視点から遠く離れ、経費縮減だけが独り歩きする「長寿命化」になりはしないか、危惧するものだ。</p>	

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
34	4 (2) 1)	<p>全体を通しての意見を述べます。(関連するページは P33)</p> <p>長寿化計画は、教育委員会がランドブレイン(株)に教育施設、学校施設の資料・データを渡し、ランドブレインが報告書を提出し、これを受けて教育委員会が策定したものではないでしょうか。しかしながら、580 万円もの支出に見合った内容にはなっていないのではないかと思います。</p> <p>以下のことを提案していると思いますが、具体性が弱いと感じました。</p> <p>(1) 教育施設のめざすべき姿として、</p> <p>① 身の丈に合ったコンパクトでスリムな街づくり</p> <p>② 地域住民のスポーツの場として、又避難所として学校を開放するなど。</p> <p>(2) 標準規模以下の学校に対しては</p> <p>① 統合・廃止による集約化、複合化の検討、既存施設の有効活用など。</p> <p>(3) 施設運営の適正化については<u>民間活力 (PPP、PFI など) を導入。</u></p> <p>要するに、①標準規模以下の学校は統廃合をします。②施設の運営については民間活力 (PFI) を導入しますと言っているわけです。</p> <p>この内容ならば、なにもランドブレインに検討してもらわなくても、教育委員会で提案できるのではないですか。580 万のお金があったら、もう一人職員を雇った方がよっぽどいいと思います。</p> <p>統廃合対象校を具体的には提案していませんが、平成 36 年に 96 人予想の坂田小学校や 92 人予想の長岡小学校が狙われるように思います。</p> <p>とくに坂田小学校では一昨年の 11 月と今年の 2 月に「小規模校の教育活動について」という「意見交換会」が教育委員会によって開催されていることもあり、ターゲットになっていると考えられます。</p> <p>現在の稲沢市の財政状況は他の自治体と比べても極めて健全で、小学校の統廃合をしなくて</p>	<p>本計画は、稲沢市が現在管理する教育施設について長寿命化を図るための方針等を定めることを目的としており、建替えの検討等の考え方については「あるべき姿」を踏襲しています。</p> <p>なお、P28 の給食に関する記述については、上位計画である総合管理計画の内容を再掲したものです。</p> <p>また、学校給食に関しては多くの課題を抱えており、給食施設老朽化の問題も含め、給食基本計画の策定において検討してまいります。</p>

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
		<p>も、十分にやっているといます。したがってぜひ小学校の統廃合はしないでください。</p> <p>最後に、今回の長寿命化計画で良い点は「学校給食は自校方式を基本とする」という項目です。</p>	
35	4 (2) 1)	<p>P31 教育施設の規模・配置計画の方針</p> <p>(1)学校教育施設の「稲沢市に義務教育と学校のあるべき姿」を指針として、学校規模の標準規模を図るため学校再編、校区再編を視野に入れて検討するものとし将来的な、児童・生徒数及び学級数の減少を踏まえ、地域機能等による利用に配慮しながら…検討を行っていく。…標準規模の維持が困難な状況となった場合には、統廃合や新たな機能を有する学校建設等の検討をおこなっていく。とあるが地域住民の合意なくして学校再編校区再編を行うことはできない。」したがって「地域住民の合意」を入れるべき。</p> <p>また、新たな機能を有する学校とは小中一貫校（義務教育学校）のことか。</p>	<p>「あるべき姿」にも示していますが、学校再編、校区再編を進めるときは、児童生徒、保護者、地域住民の学校に対する思いや判断を最大限尊重して進めてまいります。</p> <p>また、新たな機能の詳細については、義務教育学校（小中一貫校等）もその一つと考えています。</p>
36	4 (2) 1)	<p>「標準規模」は、義務教育上の適正規模とはいえない。世界では 100 人規模が主流、地域から学校なくすことが地域のコミュニティが壊れてしまう。</p>	<p>【No. 36～37 一括回答】</p> <p>「標準規模」とは、「あるべき姿」で示した内容を指しており、P11 に「標準規模とは」という項目を追記します。</p>
37	4 (2) 1)	<p>また「学校規模の標準規模化」は学校の建築をおこなうときの基準であり、「標準規模」＝「適正規模」ではない。従って「学校規模の標準化を図るため」は削除するべきだ。</p>	
38	4 (2) 1)	<p>また P31 で『稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿』を指針として… 検討する」とあるが、地域住民の合意なくして学校再編、校区再編を行うことはできない。</p> <p>従って、『稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿』を指針として、地域住民の合意を得て学校再編、校区再編も視野に入れて検討する」と、「地域住民の合意」を書き込むべきだ。</p>	<p>「あるべき姿」にも示していますが、学校再編、校区再編を進めるときは、児童生徒、保護者、地域住民の学校に対する思いや判断を最大限尊重して進めてまいります。</p>

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
39	4 (2) 1)	<p>P31で「なお、将来的なさらなる... 統廃合や新たな機能を有する学校建設等の検討を行っていく」とある。「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」でいっている「標準規模校」やそれを上回る規模の学校については統廃合や新たな機能を有する学校建設を検討しないと理解していいか。</p> <p>また新たな機能を有する学校とは小中一貫校（義務教育学校）と理解していいか。</p>	<p>統廃合や新たな機能を有する学校建設を検討については、標準規模の維持が困難な状況となった場合が基本となりますが、標準規模の学校についても可能性を排除するものではありません。</p> <p>新たな機能の詳細については、義務教育学校（小中一貫校等）もその一つと考えています。</p>
40	4 (2) 1)	<p>P31で「一部校舎の用途廃止や減築などの検討を行っていく」とあるが、そうするとP35の図16のコストはさらに下がることになる。こうした点の注釈をつけるべきではないか。</p>	<p>P35の図16については、現在管理している施設を長寿命化した時の見通しを示すものです。</p>
41	4 (2) 1)	<p>老朽化した校舎を有する学校の建替えを検討する際には、「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」を指針として検討するとしている（P31）。</p> <p>ここでいっている建替えとはP32でいっている改築だけを指すのか、それとも長寿命化改修も含めているのか。</p> <p>長寿命化改修を含めるとすれば、学校統廃合の結論を早急に出さなければならないことになる。また改築を指すとしても、学校統廃合の結論の結論を早急に出さなければならない。</p> <p>「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」を今後とも指針にするのであれば、文科省の指針通りの計画ではなく、教育委員会の考えを反映した計画を策定するべきではないか。</p>	<p>ここでいう建替えとは改築のみを指しています。</p> <p>本計画は、稲沢市が現在管理する教育施設について長寿命化を図るための方針等を定めることを目的としており、建替えの検討等の考え方については「あるべき姿」を踏襲しています。</p>
42	6 (2) ①	<p>本計画は「教育施設の長寿命化を図るための基本的な方針や実施内容を示した内容を実施計画としてとりまとめ、長寿命化計画を策定することを目的とする」とあるが(P1)、具体的な計画はP37の短期計画しかない。</p> <p>学校施設等の建物情報をP21~P24で示しているので、大規模改造、長寿命化改修、改築をどのような優先順位で行っていくか、示すべきだ。そう</p>	<p>本計画は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」及び「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を踏まえ作成しています。</p> <p>このなかで、実施計画においては直近5か年分を整理し、40年間については見通しを示す</p>

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
		<p>でない、P38の「長寿命化計画（個別施設計画）の継続的運用方針」の評価ができない。</p> <p>P35、37の「中長期計画（今後40年間）は文科省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に基づいた結果を掲載しているだけで、市の計画とはいえない。</p>	<p>ものとされており、本計画もこれに沿って作成をしています。</p> <p>なお、中長期計画については文科省の推奨型をベースに稲沢市独自の考え方に基づき試算しています。</p>
43	6（2） ①	<p>稲沢市教育施設長寿命化計画（個別施設計画）は「長寿命化計画を目的とする」（P1 目的）としているが、実際には文科省の方針に従って機械的に作成した計画ではないか。</p> <p>P35の図16の詳細では、たとえば片原一色小学校や国分小学校の屋内運動場は2019年から2年間で長寿命化改修を行うことになっている。</p> <p>そのためには2018年度中に実施設計が終わっていないなければならないが、そうっていないのではないか。</p> <p>他の学校についても同様で、築40年経つと長寿命化改修を実施する（すでに40年を超えている建物については10年以内に実施する）と、機械的に当てはめているにすぎない。P35の図16がP37の短期計画に反映されていないことを見ても明らかだ。</p> <p>どのように優先順位を決め、長寿命化改修等を行っていくのか、市の計画を明確にするべきだ。</p>	<p>①中長期計画（今後40年間）については、実施内容の大枠と長寿命化のコストの見通しを示したものです。</p> <p>②短期計画（今後5年間）については、現時点で具体化したものを示しています。</p> <p>なお、優先順位についてはP34に改修等の内容により示しています。</p>
44	6（2） ①	<p>P35、P36の「今後の維持・更新コスト（長寿命化型）」は、あくまで単年度、2年間で改修、改築を行ったときの費用に過ぎない。</p> <p>実際には施設は長期にわたり使うため、起債で対応している（施設によっては国、県の補助金などもある）。平成25-29年度の教育費における投資的経費は総額84.5億円であるが、一般財源は18.6億円、事業全体の22%にすぎない。48.2億円の起債を発行している。（一般会計及び特別会計決算説明資料「公共事業等投資的経費の概要」のうち教育費）。</p> <p>「P35で学校施設の場合、40年間コストを986億円（25億円/年）としているが、これは事業費</p>	<p>本計画は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」及び「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を踏まえ作成しています。</p> <p>本計画のコスト試算については、同解説書付属のエクセルソフトを用いて試算しており、事業費ベースでの試算となっています。</p> <p>なお、今後の長寿命化計画の実施に向けては、実質的な負担割合等も整理しながら検討を</p>

No	項目	市民から寄せられた意見	市の考え方
		<p>の総額にすぎず、市が負担する金額ではない。過大な金額を示して、財政的に大変だと市民を脅かすやり方をすべきではない。</p> <p>国、県の補助金、起債発行などを加味した財政計画を示すべきだ。主な国庫補助事業・負担割合は「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に記載されている。</p>	<p>行っていく必要があると考えています。</p>
45	6 (2) 1)	<p>P17 と P35 を比較して、 図 8 での 40 年間の総額を 1147 億円とし、図 16 での 40 年間の総額を、986 億とすることで、長寿命化によることで、「15%の減少となる」とか。 「当初 10 年間のコストが 60 億円/年と縮減できる」としているが、図 16 には、80 年すぎた施設の改築費が計上されていないように思える。 これは、比べ方が正しくないのではないか。</p>	<p>記載のとおり、40 年間の総額は約 15%の減少となっています。 また、改築費については、図 8 は築 40 年、図 16 は築 80 年で改築としてそれぞれ費用計上しています。</p>
46	6 (2) ① 1)	<p>P35 更新コスト、費用区分・内容の費用について、どれだけかかるのかの試算で実際には、稲沢市が支出する金額とは一致しないのではないか。</p>	<p>本計画は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」及び「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を踏まえ作成しています。 本計画のコスト試算については、同解説書付属のエクセルソフトを用いて試算しており、事業費ベースでの試算となっています。</p>
47	6 (2) ②	<p>P21～24 の建物情報一覧表を見ると、早急に改修しなくてはならない建物がいくつかあります。危険なものについては統廃合を待たず、速やかに着手すべきだと考えます。 P37 の今後 5 年間の計画の中にそれは予定されているのでしょうか？学校名が書いてないのでわかりません。 P37 は学校名まで明記すべきです。</p>	<p>「早急に対応する必要がある」ものについては「その他施設整備費」として実施していくものとしています。 個々の施設名については数が多いため記載していません。</p>